

2020年5月20日

フェニックス・プロパティ・インベスターズがソウル市の Young City オフィスビルを 5,458 億韓国ウォン(449.2 百万米ドル)¹ で一括売却

当社は5つ目のオポチュニティー・ファンドである Phoenix Asia Real Estate Investments V(A), L.P., と Phoenix Asia Real Estate Investments V(B), L.P. (総称して「Fund V」) が売却を行いました。



Young City, ソウル

Young City は2棟の13階建てのタワーと地下駐車場から成るオフィスビル開発で韓国ソウル市にあります。正式な売買契約は、その所有者でありフェニックス・プロパティ・インベスターズ(「フェニックス」)が参加するコンソーシアムと韓国の大手不動産デベロッパーが設立した不動産投資信託との間で449.2百万米ドル¹の価格で締結されました。この取引は2020年5月20日完了しています。

この開発案件はソウルの3大ビジネス街の1つでありバックオフィスやコールセンターが多く置かれている汝矣島(ヨイド)にあります。Line 2の地下鉄の駅からは徒歩6分で、人気のあるタイムズ・スクウェア・モールにも近い立地です。

ソウルの分散的なオフィス市場の需給バランスが有利な状況にあることを受けて、フェニックスはこの分散的なオフィスビルに投資機会を見いだしました。所有者であるコンソーシアムは2014年にこの土地を競売により評価額を下回る価格で取得しました。この物件はバックオフィスやコールセンターとしての利用を目的として開発されましたが、フェニックスのプロジェクト・マネジメント・チームはその可能性を拡げるため、計画にさらなる改良を施しました。

この物件は2017年に完成し、4月末現在で賃貸可能エリアの97%以上がすでに契約済みで、主なテナントには韓国最大の通信企業SKテレコムや、シティバンク、サムスン火災海上保険などが含まれます。

脚注: 1. 2020年5月11日現在のハナ銀行公表の換算レート1米ドル=1,215韓国ウォンを使用

フェニックス・プロパティ・インベスターズについて

フェニックス・プロパティ・インベスターズは、実績のある独立系のプライベート・エクイティ不動産投資グループです。2002年に設立されたフェニックスは、アジア・太平洋地域にある7つのオフィス（香港、東京、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北）で構成されるネットワークを通じてアジア全域の15都市において、住居、小売店舗、オフィス、商業分野における高品質な不動産投資案件に投資することにより、価値を創造し、投資家やステークホルダーに利益をもたらすという幅広い実績を多く残しています。

フェニックスは世界中の機関投資家（政府系ファンド、公的・企業年金制度、財団法人、大学基金、保険会社、重要なファミリーオフィス等）に代わり投資を行っています。

詳細については当社のホームページ（www.ppinvestors.com）をご覧ください。

メディア問い合わせ先

Phoenix Property Investors

Annie Wong

Tel: (852) 2589 3632

Fax: (852) 2589 3611

Email: anniew@ppinvestors.com